

生涯現役を貫き、105歳でご逝去された日野原重明聖路加国際病院名誉院長。最期は自宅で次男夫婦に見守られ、葬儀は病院葬。素晴らしい人生ですね。

ドラえもんの声優として有名な「大山のぶ代」さんの夫で、NHKの初代「体操のおにいさん」などで親しまれた砂川啓介さん。認知症で介護施設に入居の「のぶ代さん」を残し、尿管がんで80歳の最期。葬儀は家族葬。どちらにも有名人の旅立ちです。

我が国の平均寿命は、男81歳・女87歳超えとなり、世界に誇る長寿国ですが、少子化で高劣化率は27%を越え、人口が減少し出した社会。介護全体に占める老老介護の割合は54%。

「こんな国に誰がした！」と責任と問うてみても手遅れ。この現実を受け入れ、自分たちで出来ることをしていかなければなりません。

生涯現役が最も素晴らしいですが、誰もが出来ることではありません。

老人クラブを始めとする地域活動、ボランティア活動、老人大学・市民大学などの生涯学習、「ふれあいサロン・いきいきサロン・喫茶店風サロン」など、高齢者の遣り甲斐と居場所づくりのために、共に取り組んでいく事を確認し合ってご挨拶といたします。